

芸弓会支部

支部長：岡田 成生

【大阪芸術大学体育会弓道部：初代主将 / 芸弓会（大阪芸術大学体育会弓道部OB会）：会長】

1982年創部。その10年後の1992年に有志メンバーによって弓道部OB会である芸弓会が誕生。会の主目的は、「現役弓道部員とOB&OGの懇親および弓道部への支援」として発足しました。

それ以降、現役弓道部員とOB&OGならびにそのご家族、そして時には他大学の弓道部員や弓道に関心のある方々を交えて、総会を伴う交流射会（名称：弓帝戦）を定期的に催してきました。しかし、コロナ禍により開催が休止。その後、コロナ禍もほぼ終息したとはいえ、まだまだ本格的な活動に戻れてないのが現状です。

また、交流射会の開催に至らない問題がまた一つ。それは、部員数の極端な減少です。射会という性質上、的の用意や道場使用に関わる大学との折衝など、どうしても現役部員の力を借りないと開催できない部分が多々あります。部員数の減少というのは、前述の役割を担うための一人当たりの負担が大きくなるのが容易に予想され、芸弓会としてもお願いしにくいというのが実情です。

さて、日本の「武芸十八般」の筆頭武道として挙げられるのが、弓道なのをご存じでしょうか？弓道という日本古来の武道の習得や精神的な修養、無形のものを感じ取る洞察力等々、現代人が弓道を通して学び得ることは多くの分野に及ぶものと考えます。

起業家の方で弓道をやっていた、あるいはアップルの創業者であるスティーブ・ジョブズのように大変興味を持っているといった方が多いのは、こちら辺りが関係しているかもしれません。

OB&OGのお子様や知り合いの方で大阪芸術大学に入学される方がいらっしゃいましたら、ぜひ弓道部への入部を勧めただけましたら幸いです。



（以下、Wikipedia より抜粋）

【武芸十八般】

合戦で戦うための技芸を武芸といった。これが基になり、柔術や剣術などが生まれた。

「武芸十八般」とは、もとは江戸時代初期に中国から伝わった言葉（十八般兵器）に由来するが、近世において武門に生きる者が修得すべきとされた18種類の武技の総称であるという。この十八の武技の内容は時代や集団により異なっているが、概ね下記の十八分類にまとめられる。いずれにおいても弓道が筆頭武道である。武士の世界で「弓馬の道（きゅうばのみち）」が武道そのものを表す言葉であるとおり、「武士の魂」といわれる刀剣以上に、弓と馬は上位にあり武道で重要視されている。

（中略）

一、弓術・半弓術 / 二、馬術・騎馬術・軍馬術 / 三、槍術 / 四、剣術 ... （以下、十八まで続く）